

時代装束を着て行幸行列を観覧しよう ～寛永行幸四百年祭「装束観覧席」募集の詳細決定～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、開催中の「寛永行幸四百年祭」のメインイベントとして、12月6日に当時の行幸行列を再現します。
- 令和8年4月10日に発表した「装束観覧席」への参加者募集について、詳細が決定しましたので、周知をお願いします。

行幸行列の様子を伝える「二条城行幸図屏風」（泉屋博古館蔵）には、思い思いの装束で、沿道で行列を見物する大勢の観衆が描かれています。

行幸行列の再現イベントでは、その様子も再現するため、京都御苑に設置する特別観覧席にて、時代装束を着用の上「観衆役」として行幸行列を御覧いただきます。

＜「装束観覧席」参加者募集について＞

- 1 第1次募集期間 令和8年5月1日（金）～令和8年5月31日（日）
※応募者多数の場合、抽選
※令和8年6月8日（月）に参加の可否を発表予定
※令和8年8月以降、第2次募集を実施予定

2 募集コース・料金

コース・金額	装束のイメージ	内容
Aコース (30万円) 【10人程度】		今回のイベントのために 「二条城行幸図屏風」を基 に詠えた装束 (かつら・メイク付)
Bコース (3万円) 【100人程度】		当時の風俗をイメージした 装束
Cコース (1万円) 【30人程度】		「二条城行幸図屏風」に描 かれた観衆や当時の風俗を イメージした、お持ちの装 束で参加いただきます

※A・Bコースの装束はレンタル

- 3 応募方法 公式ホームページから申込（<https://kaneigyoko400.jp/viewing/>）
※1申込につき、4人まで申込可



- 4 定員 140名程度
(第1次募集) ※衣装の準備の都合上変動する場合があります。

- 5 参加資格 ・ 令和8年12月6日（日）時点で小学生以上の方
・ イベント当日、指定された時間・場所にて参加が可能な方
・ 主催者が定める安全管理及び運営上の指示に従っていただける方
・ 個人情報取得規約及び申込規約に同意いただける方
・ 国籍、性別、居住地域は問いません。
- 6 主 催 等 主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）
共催：一般社団法人 Living History KYOTO
- 7 そ の 他 ・ 行列イベント前後も、装束姿のまま街中を散策いただけます。
・ 行列到着後に二条城内で開催する到着式に御参加いただけます。
二の丸御殿にも御入場いただけます。
・ 記念写真を進呈いたします。

【参考 用語解説等】

○寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○「二条城行幸図屏風」

江戸時代（京都市指定文化財 泉屋博古館蔵）

行幸の行列とそれを見物する多くの民衆が描かれている。



○寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。令和7年度は、各種の機運醸成事業を実施し、本番となる令和8年度は、行幸行列の再現イベントや、二条城での各種展示・企画等を実施する。

○文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071

